

XBRL Japan 開発委員会 税務用財務諸表タクソノミ SWG

税務用財務諸表タクソノミ 2005 年 8 月 31 日版

リリースタイプ： 勧告

要約タクソノミ情報：

Status:	勧告
公表者：	XBRL Japan 開発委員会 税務用財務諸表タクソノミ SWG
公表日：	2005 年 11 月 30 日
名称：	税務用財務諸表タクソノミ 2005 年 8 月 31 日版 (2005 年 4 月 1 日以降開始事業年度用)
解説：	日本の国税電子申告制度において採用されている税務用財務諸表のタクソノミに関する解説文書である。
名前空間識別子：	http://www.xbrl-jp.org/jp/fr/(※1)/(※2)/2005-08-31 ※1 : common, ta ※2 : bs, pl, sc, sr, csr, plsc, cn/sc, cn/sc2
名前空間接頭辞：	jp-bs, jp-pl, jp-sr, jp-sc, jp-ta-cn-sc, jp-ta-bs, jp-ta-pl, jp-ta-sr, jp-ta-sc, jp-ta-plsc, jp-ta-cn-sc, jp-ta-cn-sc2
XBRL のバージョン：	XBRL Spec2.0a
他の XBRL タクソノミとの関係：	特にない
タクソノミパッケージの物理的位置：	http://www.xbrl-jp.org/taxonomy/2005
編集	XBRL Japan 開発委員会 税務用財務諸表タクソノミ SWG

1. まえがき

本書は、日本の税務用添付財務諸表を作成する際に利用可能な税務用財務諸表タクソノミに関する解説文書である。電子申告に携る多くの人々が、税務用財務諸表タクソノミの作成趣旨、タクソノミ・デザインの基本的な考え方などを理解できるように作成している。

2. 専門用語

専門用語	専門用語の説明
税務用財務諸表タクソノミ	税務用財務諸表タクソノミの総称。

タクソノミ	会計概念や報告様式の電子的ひな型。
インスタンス	電子的ひな型に値が入力された文書。
XBRL	eXtensible Business Reporting Language
SWG	Sub Working Group
IASCF	International Accounting Standards Committee Foundation
IFRS	International Financial Reporting Standards
FRTA	Financial Reporting Taxonomies Architecture
FRIS	Financial Reporting Instance Standards

3. 概観

3.1. 目的

XBRL Japan 開発委員会税務用財務諸表タクソノミ SWG では、2005 年 4 月 1 日以降開始事業年度の税務用添付財務諸表を XBRL 形式で作成する際に利用可能な税務用財務諸表タクソノミを開発した。

税務用財務諸表タクソノミは XBRL 仕様 2.0a(仕様 2.0 の最終版)に準拠している。

3.2. 権威

税務用財務諸表タクソノミは税務申告で添付が要請されている貸借対照表、損益計算書（製造原価明細書を含む。）及び損益金処分表（法人税施行規則第 61 条）について商法施行規則に基づいて作成されている。

なお、実際に電子申告等で提出されている財務諸表で一般的に使われていると考えられる勘定科目等については実務上の慣習として取り込むこととしている。

そのため、本来、一般商工業向けに作られた税務用財務諸表タクソノミではあるが、建設業、運送業及び病院業用の勘定科目が含まれていることに留意する必要がある。

4. 仕様

4.1. DTS（Discoverable Taxonomy Set）の構成

今回改訂された税務用財務諸表タクソノミの構成について述べる。

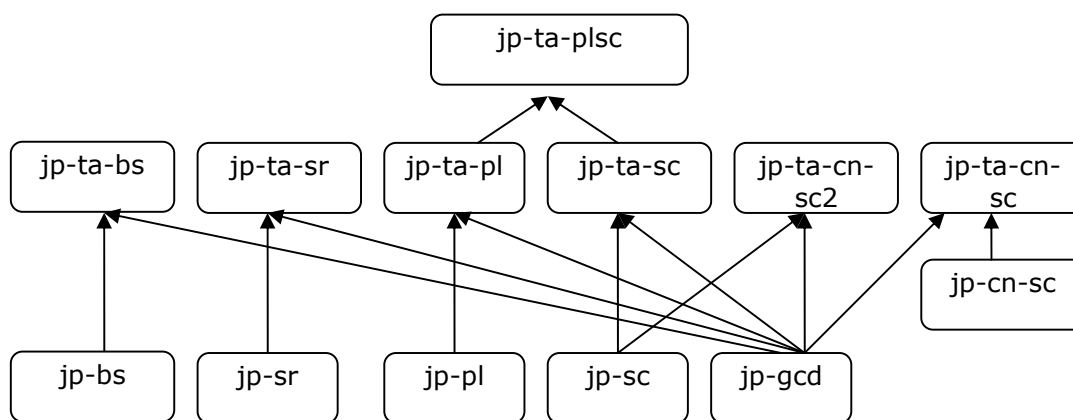
税務用財務諸表タクソノミセットは、税務用財務諸表タクソノミ、基本財務諸表タクソノミ、企業情報タクソノミから構成されている。

税務用財務諸表タクソノミは基本財務諸表タクソノミと企業情報タクソノミをインポートしている。税務用財務諸表タクソノミでは、基本財務諸表タクソノミには存在しない要素が定義されるとともに、追加された要素についての関係リンク（表示リンク、定義リンク、計算リンク）が定義されている。

この構造が貸借対照表、損益計算書、製造原価明細書それぞれに存在し、損益計算書と製造原価明細書については更に両者を集約したタクソノミから構成される。

その構造を図示すると以下の通りとなる。

税務用財務諸表タクソノミセットの構造図



jp-gcd: 企業情報タクソノミ

jp-bs: 基本財務諸表（貸借対照表）タクソノミ

jp-pl: 基本財務諸表（損益計算書）タクソノミ

jp-sc: 基本財務諸表（製造原価明細書）タクソノミ

jp-sr: 基本財務諸表（利益処分計算書）タクソノミ

jp-cn-sc: 建設業完成工事原価報告書タクソノミ

jp-ta-bs: 税務用財務諸表（貸借対照表）タクソノミ

jp-ta-pl: 税務用財務諸表（損益計算書）タクソノミ

jp-ta-sc: 税務用財務諸表（製造原価明細書）タクソノミ

jp-ta-sr: 税務用財務諸表（利益処分計算書）タクソノミ

jp-ta-plsc: 税務用財務諸表（製造原価明細書を含む損益計算書）タクソノミ

jp-ta-cn-sc: 税務用財務諸表（建設業完成工事原価報告書）タクソノミ

jp-ta-cn-sc2: 税務用財務諸表（建設業兼業事業原価報告書）タクソノミ

4.2. 修正履歴

対象年 度	公表日	タクソノミ ファイル	変更内容
2004 年度	2005 年 2 月 25 日 (勧告)	全タクソノミ	エレメントの大部分を基本財務諸表タクソノミ (jp-**) からインポートする形式に変更
		jp-bs-2004-05-01.xsd jp-pl-2004-05-01.xsd	(固定資産の減損に係る会計基準への対応) 貸借対照表において「減損損失累計額」を建物、構築物等の有形固定資産科目毎に設定、損益計算書において特別損失の項目に「減損損失」を追加
		jp-ta-bs-2004-05-01.xsd	(国税電子申告において XBRL 税務用財務諸表の普及を促進するため) 「その他〇〇科目 1」のような未定義要素の追加
2005 年度	2005 年 10 月 13 日 (内部作業草案)	全タクソノミ	全ての抽象的要素(Abstract)を StringItemType に変更
		jp-bs-2005-08-31.xsd	貸借対照表において「リサイクル預託金」を追加 import 文に<import namespace="http://www.xbrl.org/2001/XLink/xbrlinkbase" schemaLocation="xbrlinkbase.xsd"/>を追加
		jp-pl-2005-08-31.xsd	import 文に<import namespace="http://www.xbrl.org/2001/XLink/xbrlinkbase" schemaLocation="xbrlinkbase.xsd"/>を追加 CostMeerchandiseFinishedGoodSubtotal 要素の要素名と ID 名が異なっていたため修正した。修正箇所は jp-pl-2005-08-31.xsd の CostMerchandiseFinishedGoodSubtotal 要素の ID 属性が jp-pl_CostMerchandiseFinishedSubtotal となっていたものを jp-pl_CostMerchandiseFinishedGoodSubtotal とした。
		jp-sc-2005-08-31.xsd	import 文に<import namespace="http://www.xbrl.org/2001/XLink/xbrlinkbase" schemaLocation="xbrlinkbase.xsd"/>を追加

	linkbase.xsd"/>を追加
jp-cn-sc-2005-08-31.xsd	import 文に<import namespace="http://www.xbrl.org/2001/XLink/xbrlinkbase" schemaLocation="xbrl-linkbase.xsd"/>を追加
jp-ta-bs-2005-08-31.xsd	import 文に<import namespace="http://www.xbrl.org/2001/XLink/xbrlinkbase" schemaLocation="xbrl-linkbase.xsd"/><import namespace="http://www.xbrl.org/2001/instance" schemaLocation="xbrl-instance.xsd"/>を追加
jp-ta-cn-sc2-2005-08-31.xsd	import 文に<import namespace="http://www.xbrl.org/2001/XLink/xbrlinkbase" schemaLocation="xbrl-linkbase.xsd"/>を追加
jp-ta-pl-2005-08-31.xsd	import 文に<import namespace="http://www.xbrl.org/2001/XLink/xbrlinkbase" schemaLocation="xbrl-linkbase.xsd"/><import namespace="http://www.xbrl.org/2001/instance" schemaLocation="xbrl-instance.xsd"/>を追加

4.3. 今後の対応

税務用財務諸表タクソノミは、XBRL の国税電子申告での利用の拡大を念頭におき、例えば、業種別とするのが適当かもしれない病院用勘定科目も含め、慣習的に採用されている勘定科目名を網羅的に定義し、基本財務諸表タクソノミとしており、また、税務用拡張としては、タクソノミに定義する要素としてふさわしくない「その他〇〇科目 1」のようなものについて<jp-ta-**>として定義している。

この中で基本財務諸表タクソノミのあり方も当然検討対象となるが、税務用財務諸表タクソノミとして広く利用されるために上記の方法を採用した。

基本財務諸表タクソノミは、XBRL Japan 開発委員会で基本フレームワーク及び基本財務諸表に関するサブワーキンググループを作り、有価証券報告書、商法計算書類等との親和性を有した基本財務諸表タクソノミとして見直し作業を行っており、今後、税務用財務諸表タクソノミは大きく変わる可能性を有している。

基本的なタクソノミの構造としては、①基本財務諸表で一般商工業向けの勘定科目を定義し、②業種別の勘定科目は、別のタクソノミで定義を行い、③有価証券報告書用、税務用、商法施行規則用、〇〇業種用などは、これらの定義ファイルから必要な科目（要素）を抽出して、拡張タクソノミとし、表示リンクや計算リンクを定義する方法が考えられる。

2003 年度以降の電子申告対応のため、現在の税務用財務諸表タクソノミは仕様が 2.0a バージョンとなっているが、国際的には仕様 2.1 バージョンが勧告されていること、また、FRTA（財務報告用タクソノミアーキテクチャ）への準拠により、日本のタクソノミが XBRL インターナショナルにおいて「承認」されるように開発を進めていく予定である。

5. フィードバック

本書ならびに税務用財務諸表タクソノミに関する問い合わせ、意見・要望等は、XBRL 開発委員会 税務用財務諸表タクソノミ SWG にて受け付けている。

E-mail: taxonomy@xbml-jp.org

6. 知的財産権

6.1. 著作権

このタクソノミは、XBRL Japan が独自に開発したものであり、「税務用」という名称を使用しているが、国税庁及び国税関係者が関与して作成したものではない。

このタクソノミに関する著作権は XBRL Japan 及び XBRL International に帰属し、XBRL Japan が解散した場合には、XBRL Japan の会員規約に従い、著作権は XBRL International 又は同種の団体に譲渡される。

このタクソノミの一部又は全部を、部分的な修正がしてあるか無いかにかかわらず、販売することは禁じられている。

このタクソノミを他の形式に組み替えて、XBRL と競合する活動に利用することを禁じている。

6.2. 免責条項

このタクソノミは、XBRL 技術を利用して財務諸表インスタンス文書作成を行う目的で作成されたタクソノミであり、実際の電子申告で利用した場合の動作を保証するものではない。

XBRL Japan は、このタクソノミを利用した結果について、何ら保証するものではなく、利用した結果、何らかの損害が生じたとしても責任を負わない。

6.3. 使用許諾

上記の条件を承諾した場合に限り、このタクソノミを無償で利用することを許諾する。

7. 謝辞

税務用財務諸表タクソノミの開発に当たりご意見、ご要望をご提示いただきました XBRL Japan 会員の皆様に感謝するとともに、このタクソノミが電子申告において広く一般に利用されることを願うものであります。